

釋家 嚴林烈編

妙法蓮華經 第十六

妙法蓮華經 第十六

(妙法蓮華經 如來壽量品第十六 || 微妙法)



南無 釈迦牟尼佛画像

南無 釈迦牟尼佛様にま見え

1991年8月初旬 康井朝貴 画く



1994年12月撮

康井朝貴 (YASUI ASATAKA)

1955年3月

日本国大阪市生まれ 在日韓国人

(パスポート名)
韓名

KANG IKKI

康 翼巳

はじめに

私達、「凡夫人(俗言——ただの人間)」は、自分達の自で確認できる物や、

俗言「科学的」に立証できる物や、事を第一とし、

ややもすれば、現在の技術水準で立証できない物や、事、及び常に目や耳、鼻で確認できない物や、事を否定的に思い、考えてしまいます。が、

私達、凡夫人は、凡夫人以外の衆多の諸もろの衆生と共に、此の六趣の三界の、世の間に在(ざい)しているのです。

又、私達は、必ず、現世の各、各の「其の身」を、死に至る宿めの中に住し、而も「其の身」が死して各、各の生命の終わりを迎えるのではなく、現世にて作(な)した「報いの処」に転生し、続けるのです。

是の真実を、我々衆生が知ろうと、知るまいと、悟ろうと、悟るまいと、時が過ぎ往く如くに、厳然と「是の真実の宿めの中」で存在しているのです。

我々衆生は、自らの能力では「是の宿め」から抜け出る能力無く、生きる事、老いる事、病いの事、死する事、各、各に憂い、悲しみ、苦しみ、

前言

我等「凡夫（俗稱人）」，總以自己之目可確認之物，

以世俗所謂「科學」可論證之物或事爲第一。

一旦遇到現代科學技術水準不可證實之物與事，便思否定之。

然，我等凡夫是與凡夫以外的衆多諸衆生共在此六趣三界世間的。

又，我等注定將現世中各自「其身」置於至死之宿命之中，

且并非於「其身」死后迎來各自生命之終結，

而是繼續轉生於現世所作「報應之處」。

是真實，無論我等衆生知與不知，悟與不悟，

猶如時間過往，儼然存在於「是真實之宿命中」。

我等衆生無能力自行擺脫「是宿命」，

既爲生、老、病、死之事而各自憂慮、悲苦，

絶え間無く苦惱に会いながらも、慢心を懐き、

「五欲(俗言では、支配欲、名誉欲、財欲、戯楽欲、贅沢欲、等)」

を求めては垢れ、悪、不善を作し「悪業」を重ね往き、死しては報いの「險難の処」に生じ

或いは、「大罪」を作しては「地獄」に墮ち

百万年或いは、百億年、十兆年と、

「地獄、餓鬼、畜生道」の「三惡道」の中で微塵数と転生し「大罪」の報いの大苦の咎を受け、

喘えぎ住するに至るので在り、止留まり在すれば、必ず「三惡道」に墮ちるに至る

此の六趣の三界の中で輪廻転生し、今、世の間に在しているのです。

「慧日大聖主」南無「釈迦如来」様は、

先の様に、自ら楽しんで垢れ、悪を求め作し、

自から楽しんで「悪業」を重ね、自から楽しんで「地獄」等の「三惡道」に墮ち往く

我等、凡夫人(俗言人間)及び、諸もろの衆生をも「大悲にて愍れみ」下さり

世の間に住す全ての衆生に、此の六趣の三界から抜け出る「大福德」を得させ下さる為

是の「妙法蓮華經 如来寿量品第十六」を定め下さりました。

愚私、康井朝貴は一九九二年八月に、

「慧日大聖主」南無「釈迦牟尼仏」様に、

不絕遭遇苦惱，又懷慢心，

求「五欲」（俗稱支配欲、名譽欲、財欲、戲樂欲、奢侈欲等）

而行穢惡與不善之事，積下「惡業」，死而往生於報應之「險難之處」，

或犯「大罪」墜入「地獄」，

於百萬年或百億年、十兆年間，

如微塵數轉生於「地獄、餓鬼、畜生道」之「三惡道」中，

因「大罪」之報而受大苦，殘喘掙扎。

我等衆生今世所在之世間，正是此六道輪迴之三界，

滯留其間，必墜「三惡道」。

【慧日大聖主】南無「釋迦如來」

對於自樂求穢惡而行穢惡之事，

自樂積「惡業」而自樂墜入「地獄」等「三惡道」之我等凡夫（俗稱人）及諸衆生，

亦「因大悲而生憐憫」，爲使世間所住一切衆生獲得脫離此六趣三界之「大福德」，

定下是「妙法蓮華經 如來壽量品第十六」。

愚，康井朝貴於一九九二年八月，

拜受「慧日大聖主」南無「釋迦牟尼佛」

「妙法蓮華經 如来寿量品第十六の義」を明らかにし、普ねしに知らせよ、
の「御、指示」を受け

集中して是の「微妙法(妙法蓮華經 如来寿量品第十六及び、分別功德品第十七)」の「義」を
釈明するに努め、此に釈りやすく説き明らかにできた事を、至上の慶こびに想っています

(少し残念な事は「分別功德品第十七」も同期に釈明を作し已りたかつたです)
少しでも多くの、できれば世の間に住す全ての衆生の方々が
「明らかにした是の「微妙法(如来寿量品)」の「義」に随い行じれば、

全ての邪、悪から救い下さり、全てに清く淨く美しく、

安楽に住せる「七宝国土清淨な三界」に生じる「大福德」を得させ下さります」

「慧日大聖主」南無「釈迦如来」様の「大いなる救い(真の救い)」を得れる事を願ひ、
「本」に設えるのを念っています。

其れを進めるに當つて、愚私は、俗言「何々教」や、「何々宗」など等の

教団や団体を作す意図は千兆分の一も無く、唯、唯、唯、全ての諸もろの衆生の方々が、

「大悲の御、愍れみ」にて普ねし全ての衆生を愍れみ下さり

「大悲の御、愍れみ」にて此の娑婆世界普ねし世界の邪、悪を滅尽し、

「善を、真の救いを、清淨」を至らせ下さります。

「闡明」妙法蓮華經 如來壽量品第十六之「義」，并廣宣世間之「指示」，致力於集中釋明是「微妙法」妙法蓮華經 如來壽量品第十六，以及分別功德品第十七之「義」，於此達成解說闡明之事，感到無上欣慰。

（稍感遺憾者，未能同期完成「分別功德品第十七」之釋明工作）

「衆生若奉行所闡明之是「微妙法」（如來壽量品）之「義」，

即可獲救脫離一切邪惡，獲得往生於一切清淨美妙

得享安樂之「七寶國土（清淨三界）」之「大福德」。

我祈願更多乃至居於世間之一切衆生獲得「慧日大聖主」南無「釋迦如來」如此之「大救助（真救助）」，因而製成此書。

當設此書之時，

我無千兆分之一之意圖欲建立俗稱「某某教」、「某某宗」等教派或團體，

唯切望一切衆生真正接受

以「大悲之憐憫」憐憫普世一切衆生，

以「大悲之憐憫」滅盡此娑婆世界一切邪惡，

使之至「善、真救助、清淨」，

「世の全てを、全ての邪、悪から救う事のできる唯一の救世主、慧日大聖主」
 南無「釈迦牟尼仏」様が、

「大いなる大悲の御、愍れみ」にて施こし下さります

「無限量の救い」を、然りと受け取れる事を、切に願ひ「本」に設えるのを進めます。

一九九三年 五月 一日

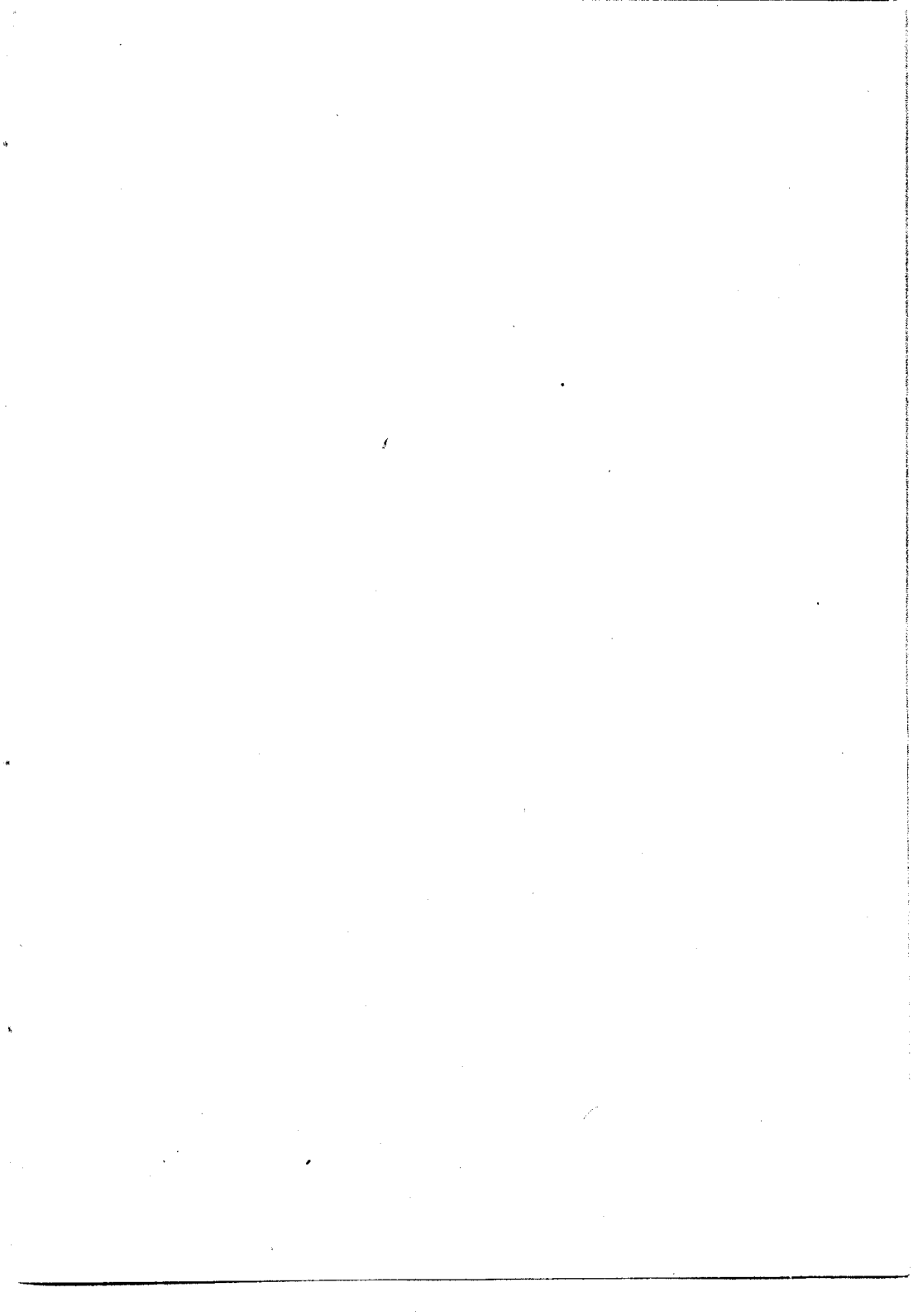
康井朝貴

「可拯救普世脫離一切邪惡之唯一救世主，慧日大聖主」
南無「釋迦牟尼佛」

以「莫大大悲之憐憫」所賜之「無量救助」。

康井朝貴（康 翼己）

一九九三年五月一日



目 錄

前言——作者的話	1
妙法蓮華經 如來壽量品第十六之義	9
后記——作者的話	310
中文版發行序	315

妙法蓮華經 第十六

(妙法蓮華經 如來壽量品第十六 || 微妙法)

妙法蓮華經 如来寿量品

第十六

桃秦三蔵法師 鳩摩羅什 奉詔訳

妙法蓮華經 如来寿量品 第十六

上記釈明 康井朝貴

妙法蓮華經 如来寿量品 第十六

『世の普ねしに是の上に無く尊い』

両足の慧日大聖主

南無『釈迦如来』様の『御、寿命は無限量』で在る。

『是の一大真実』を明らかにした『義』

『義』を信受し、随い行しる全ての衆生を

全ての邪悪から救い出す

【世の普ねしに是の上に無く尊い】